



Care Service Co., Ltd.

株主・投資家の皆様へ

ケアサービス便り

Letters from Care Service Co., Ltd.

2015.4.1 ▶ 2016.3.31



In-home
Care Support



DayService



Visiting
Bath Service



Home Visit
Care Service



Chinese
Subsidiary



Rental and Sales
of Assistive
Equipment



Clean Service



Angel Care



Serviced
Residence for
the Elderly



Short Stay

ケアサービスでは、「介護からエンゼルケアまで」



～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～

ケアサービスは、「介護からエンゼルケアまで」一貫したサービスをご提供できる日本で唯一の企業です。お客様が大切にされてきた人生観や価値観をお守りし、心を通わせて、安全かつ安心してご利用いただけるサービスのご提供を目指してまいります。

すべてはケアマネジャーへのご相談から

ご相談に応じて、専門家であるケアマネジャーが、最適なケアプランの作成からサービス事業者の選定・連絡・調整を行います。

身体を洗うだけでなく、心身を元気にする入浴

看護師を含む専門スタッフが訪問入浴車でご自宅にお伺いし、お部屋での入浴サービスをご提供いたします。

福祉用具に関わる全てをお手洗い

専門の資格を持つスタッフがおお客様の状態に合わせ、必要な福祉用具を選定いたします。介護保険でご利用いただけます。



居宅介護支援



デイサービス



訪問入浴



訪問介護



福祉用具貸与・販売



フォーライフ
(サービス付き高齢者向け住宅)

安心してお過ごしいただける「もう一つの我が家」

ご自宅での生活が充実するよう、運動や個性を重視した趣味活動などを通して、身体機能の維持・向上をサポートいたします。

住み慣れたご自宅での日常生活を支援

在宅での介護を必要としている方々にヘルパーの資格を持つ専門のスタッフがご自宅にお伺いし、身体介護・生活援助を行います。

介護保険でサービスが受けられるサービス付き高齢者向け住宅

介護スタッフが24時間常駐し、昼夜を問わず介護度に合った日常生活上のお世話を包括的にいたします。

一貫してサービスをご提供しております

TOPIC >> 中国子会社



日本・中国(上海)のメディアが注目 上海での日本式訪問入浴

子会社の「上海福原護理服務有限公司」が上海にて展開する訪問入浴事業は注目を集め、メディアに登場しています。また、2016年5月に実施された上海民生局主催の介護事業コンテストにおいて最優秀賞を受賞いたしました。今後も事業拡大を図ります。



TOPIC >> 訪問看護



医療と介護の連携をけん引する 訪問看護事業を開始

2016年7月に大田区の蒲田駅近郊に訪問看護事業所第1号店をオープンいたします。訪問看護は、医療と介護の連携の核となり、既存介護事業をより高いレベルにけん引します。また、在宅での看取りに取り組み、エンゼルケア事業との連携を図ってまいります。



美しい思い出をつくる最後の介護

エンゼルケア^{ゆかん}(湯灌)を「介護の到達点」と位置付け、故人様の安らかな旅立ちのお手伝いをいたします。

急速に高齢化が進む中国での日本式介護を展開

中国上海市にある完全子会社の「上海福原護理服務有限公司」が、中国国内において日本式介護の普及を推進しています。



ショートステイ



クリーンサービス



エンゼルケア



中国子会社
(上海福原護理服務有限公司)

New

2016年7月開始予定



訪問看護

お客様、ご家族様、地域の皆様に 笑顔と安心をお届け

介護の必要な方が短期間入所できる施設で、入浴や食事などの日常生活上のご支援や機能訓練などをご提供いたします。

遺品整理と遺品のご供養

故人様が住まれていた住居の清掃・原状復帰をお手伝いするサービスです。遺品・衣類などをご遺族様と話し合いながら整理いたします。

看護師がご自宅に訪問し、 療養生活をサポート

看護師がご自宅に訪問し、リハビリからターミナルケアまで幅広く療養生活をご支援します。医師と連携を取り、最適のケアを行います。

株主の皆様へ

2015年4月の介護報酬改定では、大幅な報酬単価の引き下げがありました。ケアサービスは、それを乗り越え、前期比で増収増益を達成しました。今後、介護サービスは、より「質」が求められていく中で、ケアサービスがどのような取り組みを行うか代表取締役社長 福原敏雄に聞きました。



代表取締役社長

福原敏雄

企業理念

私たちは、お客様一人ひとりの
尊厳に共感したサービスを提供します

私たちは、全従業員と
その家族の幸せを追求します

Q 2016年3月期の業績概要について 教えてください。

2015年は2000年に介護保険法が施行されてから3年ごとに行われる介護報酬改定の年でした。2015年4月の介護報酬改定では、介護サービス全体で平均して4.48%の報酬単価の引き下げが実施されました。

当社グループにおいては、研修・教育体制の強化によって介護福祉士等の資格保有者を継続的に増加させており、また重度の要介護者を積極的に受け入れる体制を構築してまいりました。このような施策が報酬加算に直接つながり、報酬改定による単価引き下げの影響を受けず、さらにプラスに転じ、当社グループの介護サービスの平均単価は前期と比較し上がりました。

また新規出店とともに主力のデイサービスおよびサービス付き高齢者向け住宅事業において、稼働率が改善いたしました。

これらの結果、当期売上高は8,299百万円(前期実績7,623百万円)、営業利益は242百万円(同118百万円)、経常利益は255百万円(同116百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は146百万円(同40百万円)となりました。

※2016年3月期より連結財務諸表を作成しているため、前期実績は個別財務諸表の数値を使い、比較しています。

Q 2016年3月期に行った取り組みと、その狙いについて教えてください。

2016年3月期も引き続き、東京23区を中心としたドミナント戦略を推進してまいりました。

ただし、介護報酬改定により介護事業者に「量から質への転換」が求められ、その大きな流れを見据え、当社グループはサービス内容の拡充に重点を置いた取り組みを開始しました。

その一例が、2015年6月よりスタートしたデイサービスの日曜営業です。お客様からのご希望が多く、当初3事業所よりサービスを開始しましたが、地域ニーズが確実にあることがわかり、2016年3月末までに12事業所まで拡大しております。

また、当社グループが高い品質のサービスを提供し続けるためには、介護スタッフの安定的な雇用が必要になります。定着率の向上を目的とした従業員の処遇改善、研修体制の充実、パート社員の正社員契約への移行を推し進めています。

2015年8月には、中国・上海市において完全子会社である上海福原護理服務有限公司を設立し、介護サービスとして将来性ある市場を有する中国への進出を実現させました。現地の複数の医療介護グループと業務委託契約を締結し、介護職員向けの介護研修講座の提供を開始しました。続いて、訪問入浴サービスの提供も始めております。今後も日本式介護サービスの拡充を図り、現地の医療介護グループや自治体との提携に向けた開拓、深堀を進めてまいります。

Q 中長期の戦略について、今後、重点項目となる取り組みを教えてください。

政府による医療・介護への方向性が、施設から在宅、病院から在宅に変わってきています。介護と医療の連携がこれまで以上に重要になると考えています。当社グループは、「介護からエンゼルケアまで」を対象にサービスを提供しておりますが、今後、在宅での看取りが増加していくことを考えると当社グループに訪問看護サービスの拡充が必要だと考え、2016年7月より訪問看護事業を開始し、蒲田駅近辺に第1号事業所を立ち上げる予定です。

この訪問看護事業においても、デイサービス同様、優秀な看護スタッフの確保が重要です。しかも、訪問看護は病院勤務の看護と異なり、自らの判断で行動しサービスを提供する必要があります。看護師としての経験が長くても、すぐに訪問看護ができるとは限らないのです。

当社グループでは訪問看護事業を立ち上げるにあたり、訪問看護事業所の認可に必要な人員(保健師、看護師、准看護師の常勤換算2.5名)の2倍の5名として、業務遂行に十分な体制の構築を目指してまいります。

中国子会社の上海福原護理服務有限公司は、2017年3月期は事業の本格的拡大を進めてまいります。上海での訪問入浴サービスが日本・中国(上海)の各メディアで取り上げられ注目が集まっており、当社グループの事業拡大には追い風になっております。事業拡大を通して、日本式介護の充実を目指してまいります。

デイサービス事業所の新規出店に関しては、2020年東京オリンピック開催に向けての東京23区内での投資環境の盛り上がり、景気の好転、用地で競合することの多いコンビニエンスストアの出店攻勢などもあり、出店余地が限られてきています。当社グループでは東京23区での一定のドミナントを固めつつあることから、今後の出店については、引き続き対象となる地域の顧客データやテナント賃料、建設コストなどを慎重に見極め判断を行ってまいります。

サービス充実策として前期よりスタートしたデイサービスの日曜営業では、さらに稼働率を向上させてまいります。

当社グループでは2016年5月に、2017年3月期～2019年3月期に係る中期経営計画を策定しておりますが、こうした新たな取り組みを踏まえ、2017年3月期は一部業績目標を上乗せし、前期比で増収増益を予想しております。

Q 人材の育成・確保は介護ビジネス最大の経営課題です。ケアサービスの施策について教えてください。

当社グループが展開する介護ビジネスにとっては、介護福祉士等の資格保有者をはじめとした介護人材の確保が最大の経営課題となっています。

従業員が働きやすく、かつ働きがいのある環境を整備するため、引き続き介護人材の処遇改善、パートから正社員への契約変更、研修・教育の強化等を推し進めてまいります。

2014年12月に東京都大田区のJR大森駅前へ本社移転をし、随時採用および研修が行える十分なスペースを確保しまし

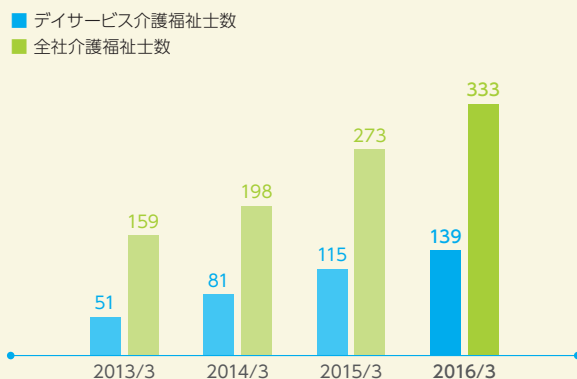
た。この本社を利用し、社長が想いを伝える新卒向け会社説明会を実施しています。新卒採用では大学生だけではなく、高校生、専門学校生を対象とした採用活動を行っています。その結果、介護サービスに適性がある若く優秀な人材に対して、長期的な視点で実務能力の向上を目的とした育成が可能になりました。2016年4月には、新卒43名が入社しております。2017年4月には、新卒採用100名を目標として、新卒向け会社説明会の開催数を増やして実施してまいります。

新人研修にはエンゼルケアの研修をプログラムに組み入れ、「介護からエンゼルケアまで」という当社グループの基本理念を支える「尊厳」という考え方を体感する取り組みを取り入れています。

また当社グループに所属する介護福祉士は年々増え続けており、当社グループにおける介護福祉士数は2016年3月

▶ 介護福祉士数の推移

(単位：名)



末には、前期末比60名増の333名となりました。介護の「質」の維持・向上のため、資格取得の推進を続けてまいります。

Q 株主・投資家の皆様へメッセージをお願いします。

当社グループは「介護からエンゼルケアまで」一貫したサービスを提供しており、その市場は拡大しています。

2025年には、約800万人といわれる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、介護事業者が担う役割はこれまで以上に大きくなります。

加えて、2015年8月に完全子会社を設立した中国においても、日本以上のスピードで高齢化が進んでいます。人口は日本の10倍以上もあり、上海をはじめとして、東京23区並みの人口集中が進む大都市も数多くあります。このような市場

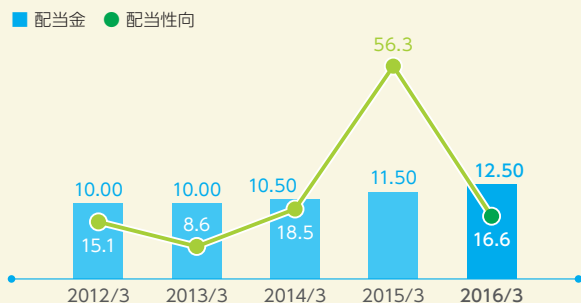
環境で、当社グループが日本で培った質の高い日本式介護に対する需要はますます高まっていくと考えています。

今後も、当社グループが確立した「介護からエンゼルケアまで」の各サービスの有機的な連携を図り、サービス品質の向上を引き続き推進してまいります。

当社グループでは、株主の皆様に対しての、長期的かつ総合的な利益の拡大を重要な経営目標と位置付けております。株主配当につきましては、中長期的な事業計画に基づき、設備投資および再投資のための内部資金の確保と安定的な配当を実施することを基本方針としておりますが、2016年3月期期末配当は、前期実績から1円増配の1株当たり12円50銭といたしました。2017年3月期につきましては、1株当たり13円50銭を予定しております。

▶ 配当金と配当性向の推移

(単位：円/%)



※2013年7月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行っております。
 ※2016年3月期より連結決算を採用しております。2015年3月期以前の数値は単体決算であり、参考値として掲載しております。

▶ 2017年3月期 業績概要

(単位：百万円)

	2016/3		2017/3(予想)		
	実績	利益率	予想	利益率	前期比
売上高	8,299	—	8,581	—	3.4% ↗
営業利益	242	2.9%	283	3.3%	16.8% ↗
経常利益	255	3.1%	278	3.2%	8.8% ↗
親会社株主に帰属する当期純利益	146	1.8%	158	1.8%	8.1% ↗

▶ 1株当たり情報

(単位：円)

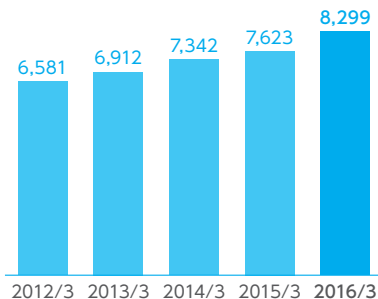
	2016/3	2017/3(予想)
当期純利益(EPS)	75.18	81.65 ↗
年間配当金(DPS)	12.50	13.50 ↗

※業績予想につきましては、当社が現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、そのため不確定要因や今後の事業展開における状況変化等により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

業績ハイライト

▶ 売上高

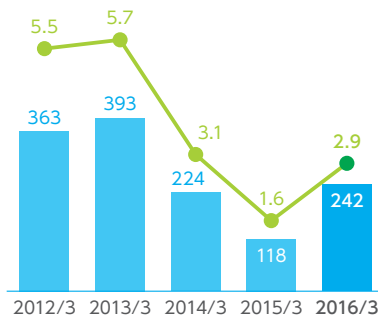
(単位: 百万円)



▶ 営業利益

(単位: 百万円/%)

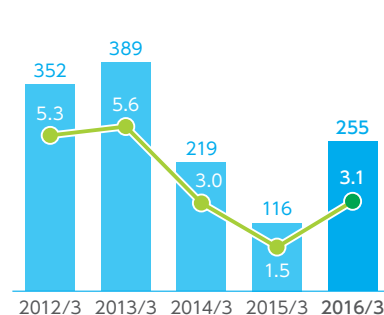
■ 営業利益 ● 営業利益率



▶ 経常利益

(単位: 百万円/%)

■ 経常利益 ● 経常利益率

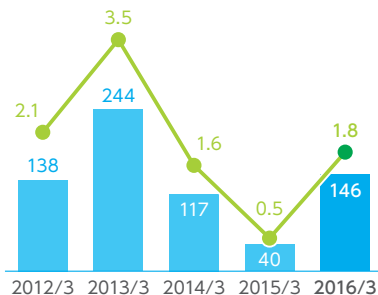


▶ 親会社株主に

(単位: 百万円/%)

帰属する当期純利益

■ 親会社株主に帰属する当期純利益
● 当期純利益率

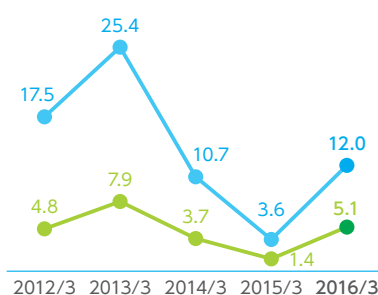


▶ 自己資本利益率(ROE)

(単位: %)

総資本利益率(ROA)

● 自己資本利益率(ROE)
● 総資本利益率(ROA)

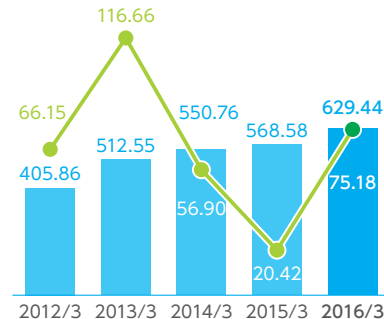


▶ 1株当たり純資産(BPS)

(単位: 円)

1株当たり当期純利益(EPS)

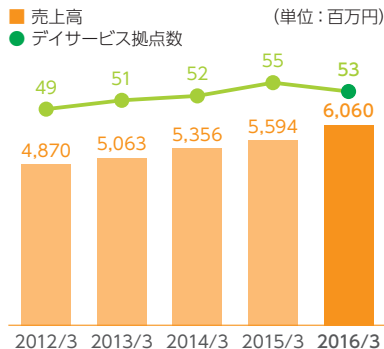
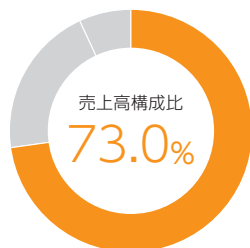
■ 1株当たり純資産(BPS)
● 1株当たり当期純利益(EPS)



※2013年7月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行っております。
※2016年3月期より連結決算を採用しております。2015年3月期以前の数値は単体決算であり、参考値として掲載しております。

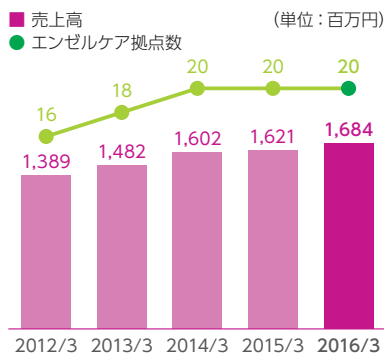
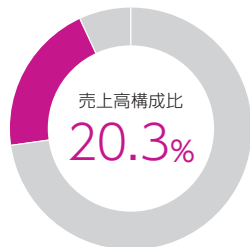
セグメント別の業績

▶ 介護事業



デイサービス、訪問入浴、訪問介護、居宅介護支援、ショートステイ、福祉用具貸与、特定福祉用具販売等のサービスを提供する介護事業では、2015年4月に「デイサービスセンターコトニア赤羽」と「ケアプランセンターコトニア赤羽」を開業いたしました。また、2015年8月には、中国国内での日本式介護の普及を図る「上海福原護理服務有限公司」を完全子会社として設立いたしました。さらに事業所の合理化と人員の最適化を目的に事業所の統合閉鎖を図り、デイサービス3事業所、訪問入浴2事業所、訪問介護1事業所を他事業所と統合し、閉鎖いたしました。2015年6月よりデイサービスにおける日曜営業を3事業所で開始し、期末までに12事業所で実施しております。この結果、同事業の売上高は60億60百万円、セグメント利益は4億76百万円となりました。

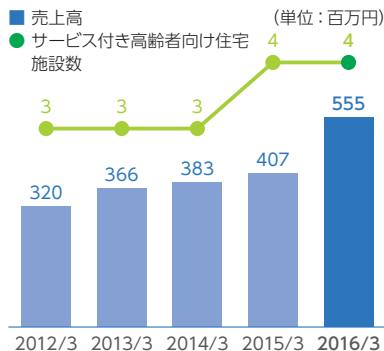
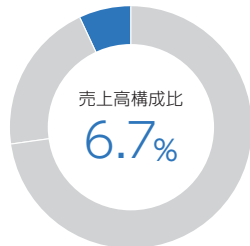
▶ エンゼルケア事業



エンゼルケア事業におきましては、冠婚葬祭業の互助会および葬儀社と契約を結び、湯灌を提供するエンゼルケアサービスは堅調に推移いたしました。しかしながら、遺品整理やリフォームを行うクリーンサービスにおいて、同業他社との価格競争の激化により売上および受注件数は増加したものの、利益率が低下しました。この結果、同事業の売上高は16億84百万円、セグメント利益は4億13百万円となりました。



▶ サービス付き高齢者向け住宅事業



サービス付き高齢者向け住宅事業におきましては、特定施設入居者生活介護事業者の指定を受けた「フォーライフ」を4施設運営しております。人材採用および入居者獲得に対するコストの上昇はあったものの、既存施設に加え前期(2015年3月期)に新たに開設した「フォーライフ草加」において、大きく稼働率が改善しております。この結果、同事業の売上高は5億55百万円、セグメント利益は6百万円となりました。



※各セグメント利益は、全社費用配賦前の営業利益です。

トピックス

社長が自ら想いを伝える新卒向け会社説明会

介護事業者にとって人材確保は大きな経営課題になっており、当社でも新卒採用を大学卒だけでなく、高校卒、専門学校卒の方にも幅広く対象としています。

新卒入社の方は、離職率が低く、同期のつながりも強く、その責任感からリーダーになる方も多くいます。2016年4月には43名の新卒入社の方を迎え入れました。そのための会社説明会は25回開催しました。2017年4月の新卒採用100名を目標として、会社説明会の実施日を土曜に限らず、そして実施回数を大幅に増やし45回開催する予定です。

新卒向け会社説明会には、必ず福原社長が参加し、自らの言葉で想いを一人一人に伝えていきます。



2016年4月入社式の様子

毎月開催するエンディングセミナー

地域のケアマネジャーや介護・医療従事者向けのエンディングセミナーを毎月開催し、前期において13回実施しました。当社のデイサービスセンターの営業終了後や地域の会議室などを利用し、毎回20~30名にご参加いただいています。また、他社と合同で開催したエンディングセミナーでは、200名の参加者にご参加いただきました。「介護からエンゼルケアまで」のサービスを提供している当社だからこそ、ご相談いただける内容も多く、まだ開催していない地域でのご希望もいただいています。

今後は、エンディングセミナーの有料化や終活支援の事業化を実施します。



他社と合同で開催したエンディングセミナーの様子

会社概要

▶ 会社概要 (2016年3月31日現在)

名称 株式会社ケアサービス
 代表者 福原敏雄
 本社 〒143-0016
 東京都大田区大森北一丁目2番3号 大森御幸ビル
 TEL : 03-5753-1170
 FAX : 03-5753-1165

創業 1970年10月5日
 資本金 205,125,000円

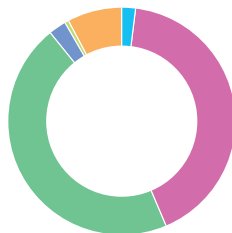
▶ 取締役および監査役の状況 (2016年6月27日現在)

代表取締役社長	福原 敏雄	社外取締役	藤好 優臣
専務取締役	石崎 利生	社外取締役	森田 直行
常務取締役	富澤 政信	常勤監査役	渡辺 桂
取締役	小林 航太郎	社外監査役	江越 眞
取締役	福原 俊晴	社外監査役	園部 洋士

▶ 株式の状況 (2016年3月31日現在)

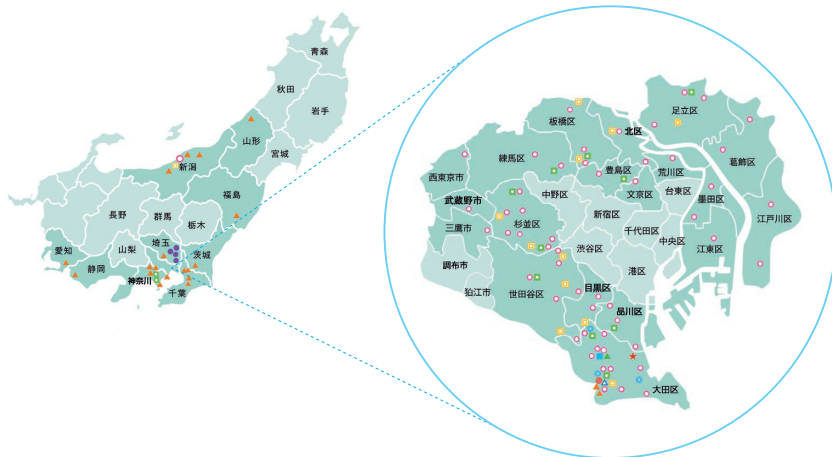
発行可能株式総数 5,760,000株
 発行済株式の総数 2,100,000株 (自己株式158,700株を含む)
 株主数 902名

▶ 所有者別株式分布 (2016年3月31日現在)



● 証券会社	43,426株 (2.07%)
● その他法人	874,500株 (41.64%)
● 個人・その他	959,274株 (45.68%)
● 金融機関	49,800株 (2.37%)
● 外国人等	14,300株 (0.68%)
● 自己株式	158,700株 (7.56%)

▶ 事業拠点マップ



★ 本社	
■ 居宅介護支援	12事業所
○ デイサービス	53事業所
■ 訪問入浴	12事業所
◎ 訪問介護	3事業所
■ ショートステイ	1事業所
● サービス付き 高齢者向け住宅	4施設
▲ 配食センター	1拠点
● 福祉用具貸与・販売	1事業所
△ クリーンサービス	1事業所
▲ エンゼルケア	20事業所

▶ 株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 毎年3月31日
そのほかに臨時に必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 東京都江東区東砂七丁目10番11号
(〒137-8081)

電話照会先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

公告の方法 電子公告により行います。
ただし、やむを得ない事由により、電子公告を
することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載の当社ホームページアドレス
<http://www.care.co.jp/>

ホームページのご案内

当社のホームページでもサービス紹介や事業所案内、IR情報など詳しい情報を同時に開示しております。是非ご覧ください。



トップページ

ホームページはこちら

<http://www.care.co.jp/>



IRページ



Facebookでも最新の情報をお届けしています。

Facebookはこちら



公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/careserviceco/>